

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		視覚障害者図書サービス				所管	教育委員会 中央図書館		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]							
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	条例・規則		[法令等名]	東京都台東区生涯学習センター条例及び同施行規則、東京都台東区立図書館則				
	事業対象	視覚障害者及び読書困難者							
	事業目的	音訳資料等の貸出を行い、視覚障害者及び読書困難者のような情報弱者支援を図る。							
	事業内容	視覚障害者及び読書困難者のような情報弱者支援のため、情報誌や一般図書をCD、DAISY(デージー、検索性・容量に優れたCDで、テープ数巻を一枚に収めることができる)といった媒体の音訳資料として作製・収集し貸出を行う。							
委託の有無	一部委託		委託内容	DAISYの作製 対面朗読の実施 テープ資料のDAISY変換					
補助金の有無									
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	登録者数	人	55	48	51	50		
		収蔵数	タイトル	1,300	1,078	1,218	1,270		
	成果指標	貸出タイトル数	タイトル	1,500	389	628	1,458		
	決算額 (単位：千円)				1,044	1,098	975		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			4,500	4,998	2,982		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			963	918	832		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			82	180	144		
		総経費			5,545	6,096	3,958		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
一般財源 (区負担額)			5,545	6,096	3,958				
前年度から改善した事項		登録利用者に新着案内や録音図書貸出ランキングを定期的に発信し、利用の促進を図った。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	3	視覚障害者をはじめとした情報弱者支援の事業として、行政が継続的に運営する必要があるサービスである。						
	効率性	3	音訳ボランティアと協力した、音訳資料の作成・対面朗読の実施、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」を利用した全国の図書館等関係施設との音訳資料の相互貸借により、最小限の人員・費用でサービスを運営している。						
	手段の適切性	3	サービスの基礎となる音訳資料の収集方法として、購入のほか、音訳ボランティアによる作製、民間業者へのテープ資料のDAISY変換作業の委託を採ることで、人員・費用の観点から適切な資料収集を行っている。						
	目的達成度	4	貸出タイトル数が増え、目標値を上回った。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
本事業は視覚障害者をはじめとした情報弱者支援として継続的に提供すべきサービスである。今後もサービスの充実を図る。							維持		